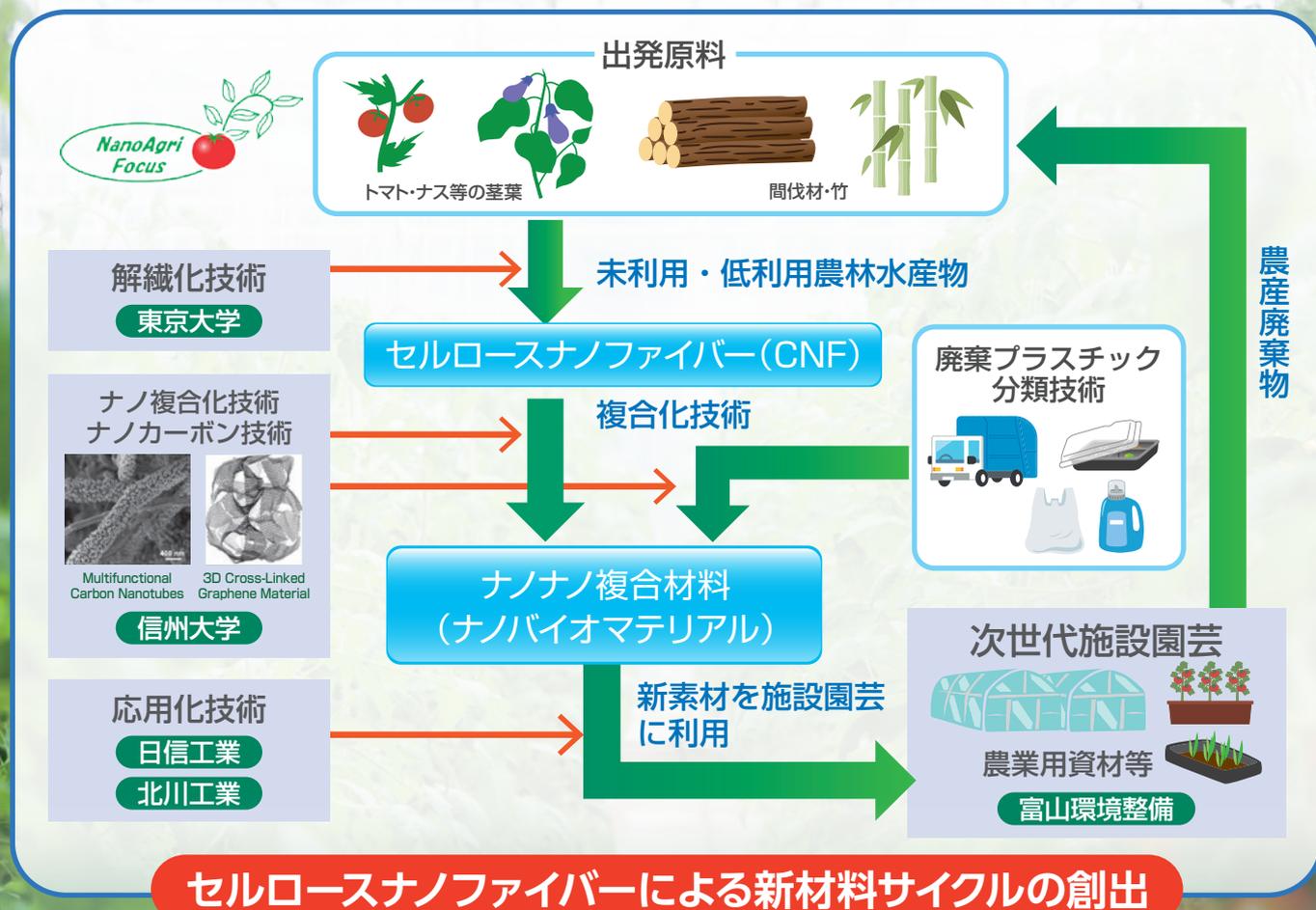


# ナノナノ複合体の活用による 次世代施設園芸

## セルロースナノファイバーまたはその複合材の農林水産業・食品産業への活用

ナノアグリ・フォーカス・コンソーシアムは、農林水産物資源の有効活用、農林水産業の技術革新、持続可能社会の実現という課題の同時解決のための緊密な農工連携体制を構築することを目的とした研究拠点です。農産廃棄物からつくられるセルロースナノファイバー（CNF）と、ナノカーボンによる革新的新素材創生技術の活用により、製造されたナノナノ複合材料を利用し、従来のリサイクル素材よりも性質が向上した農業用資材の開発・効果検証を行います。これら資材の製品化および普及により、次世代施設園芸における廃棄プラスチックの効率の良いリサイクル体制の構築を目指します。



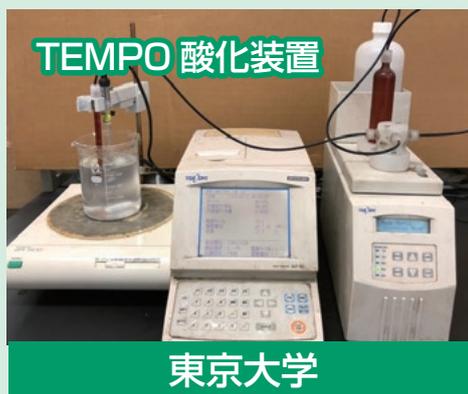
- 農産物の高付加価値化、廃棄プラスチック活用による経営コスト削減
- 施設園芸の新しいモデル提示による若者への魅力向上 (収益増、先端分野人材の活躍)
- 日本型農工連携による循環型持続可能社会への形成 (地球規模課題)

# NanoAgri Focus Consortium ナノアグリ・フォーカス・コンソーシアム

ナノアグリ・フォーカス・コンソーシアムは農林水産物資源の有効活用、  
農林水産業の技術革新、持続可能社会の実現という課題の同時解決のため、  
緊密な農工連携体制を構築する事を目的とした研究拠点です。



## 施設園芸応用検討



## 工業応用検討



コンソーシアム代表機関：国立大学法人 信州大学 先鋭領域融合研究群 カーボン科学研究所  
TEL：026-269-5714 E-mail：nano\_af@Shinshu-u.ac.jp 連絡担当：小口・徳武  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/icst/nfc-conso/>

本事業は、『農研機構 生研支援センター「知」の集積と活用による革新的技術創造促進事業 異分野融合発展研究』によるものです。